

事務事業名	森林整備加速化・林業再生事業	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課	
総 計 画 体 系	政策名	(V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	森林バイオマスグループ	課長名	熱田勇二
	施策名	(34)林業の振興	担当者名	佐藤伊知郎	電話番号	0854-40-1051 (内線) 3704
	目的 的 象	対 A)市内の森林所有者 B)市内 の森林 意 A-1)木材生産量を拡大する。A-2)森林資源 を活用する。B)適正に保全する。	予算科目	会計 款 大事業 大 0 1 3 0 0 2 事業 項 目 中事業 中 1 0 1 5 0 8 事業	林業振興事業	森林整備加速化・林業再生事 業
	基本事業名	(102)適切な保育管理				
目的 的 象	対 市内の森林 意 森林を適正に保全する。					

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (21 年度 ~ 26 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
間伐等の森林整備と林業・木材産業等の地域産業の再生を図るための国庫補助事業であり、平成21~26年度で実施される事業。 対象事業内容は森林整備から木材利用まで幅広く、雲南地域協議会で各事業主体が連携して事業計画に基づく各種事業を実施する。 市は市有林・市行造林地で保育・間伐等を行うとともに、作業路網の整備、森林病虫害防除対策を実施することにより森林の適正な管理を行う。

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動)		25年度計画(25年度に計画する主な活動)		
		市有林整備(間伐、森林作業道整備) ①現場森林の状況確認 ②事業の発注・実施 ③事業の完了検査 ④補助金申請 ⑤協議会への参加		市有林整備(間伐、森林作業道整備) ①現場森林の状況確認 ②事業の発注・実施 ③事業の完了検査 ④補助金申請 ⑤協議会への参加		
	② 活動指標	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (計画)
	ア 事業の発注件数	件	15	29	12	16
	イ 市有林の整備面積	ha	32	53	16	22
	ウ 作業路網開設延長	m	1,136	8,144	2,917	4,350
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (計画)
	市有林・市行造林、市内森林	ア 市有林・市行造林地面積	ha	742	742	742	742
		イ 森林面積	ha	43,778	43,803	43,799	43,799
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (計画)	
市有林及び民有林の適正な保育・管理及び利用	ア 事業での市有林の整備面積(累計)	ha	41.3	93.8	109.9	131.6	
	イ 事業での市有林路網整備延長(累計)	m	1,136	9,280	12,197	16,547	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)	
■ 保育事業 ・除間伐等 施業面積:16.05ha 事業費:5,688千円 ■ 森林作業道開設 整備延長:2,917m 事業費:4,187千円 事業費計:9,875千円	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円	26,322	121,146	8,815	13,887
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	20	503	1,060	1,614
		事業費計(A)	千円	26,342	121,649	9,875	15,501
		正規職員従事人数	人	4	4	3	
		延べ業務時間	時間	480	600	600	
		人件費計(B)	千円	1,866	2,365	2,351	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	28,208	124,014	12,226	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
森林整備は県の造林補助金により多く実施されてきたが、県の財政難により計画的な森林整備が難しい状況が続いてきた。本事業より森林整備や路網開設は大幅に進んでいるが、未整備森林及び路網未開設の森林は多数存在する。市内森林の多くが伐期を迎えているため、更なる路網整備及び搬出間伐が必要となっている。	県が中心となり協議会で事業運営することで各事業体での連携が図られてきた。	林業事業体から事業の継続が強く望まれている。

事務事業名	森林整備加速化・林業再生事業	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	市有林の詳細な状把握を行うことで更に効率的かつ低コストで施業が実施できると考える。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	市有林の荒廃及び地域環境の悪化、林業・木材産業の衰退
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		類似事業はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		県が示す標準単価程度で実施しており、事業費削減は難しい。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		専門的な知識が必要となり、委託等による人件費の削減効果は期待できない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		市有林を対象に実施しており適正である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		未整備森林が多数存在する一方で伐期を迎えており、搬出間伐等が必要であるが、予算不足と現状把握が十分でないため対応は十分とは言えない。 今後は、コスト削減や事業効率化のため森林状況の把握に努め、搬出間伐や作業道整備等を更に進めたい。
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上	●																			
	維持		×																		
	低下	×	×																		
今後は、コスト削減や事業効率化のため森林状況の把握に努め、搬出間伐や作業道整備等を更に進めたい。		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																			